

子どもを取り巻くインターネットの現状に関する調査研究
インターネットトラブル事例集（平成22年度版）



はじめに

現代社会は高度情報通信社会と呼ばれ、携帯電話やパソコンからいつでもどこでも、気軽にインターネットに接続でき大変便利になっています。




その一方で、様々なネットいじめやネット犯罪が起き、それに子どもたちが巻き込まれるケースが増加しています。また、子どもが被害者だけでなく加害者になるケースも出ています。

この「インターネットトラブル事例集」は、小学校・中学校・高等学校の先生、インターネットトラブルに日々対応されている専門家の方などから、ヒアリングを通じて、実際に身近で起きたトラブルの事例を集め、そこから代表的な事例を挙げるとともに、その予防法と対処法を紹介したものです。大人が子どもに伝えるべきこと、またそのために大人が知るべきことを中心にまとめています。

この事例集から、無用なトラブルを回避するための知識を深め、指導に活かしていただくことで、子どもたちがより安全に楽しく、よりよいコミュニケーションのためにインターネットを利用できる一助になれば幸いです。

事例のアイコンについて

本書で紹介する事例には、それぞれの特徴を踏まえて以下のようなアイコンをつけています。

-  最近件数が増えている事例
-  深刻な問題になりやすい事例
-  犯罪につながるおそれがある事例

I N D E X

1. 書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ

- 1-1 SNSやブログでのいじめ
- 1-2 メールによるいじめ
- 1-3 なりすまし投稿による誹謗中傷
- 1-4 動画サイトを用いたいじめ

2. ウイルスの侵入や個人情報の流出

- 2-1 パソコンのコンピュータウイルスの感染
- 2-2 SNSやブログからの個人情報流出による嫌がらせ
- 2-3 ID・パスワードを他人に教えたことによる不正アクセス

3. インターネットショッピングをめぐるトラブルと不当請求

- 3-1 大人名義のクレジットカードの無断使用
- 3-2 インターネットショッピングでのトラブル
- 3-3 無料ゲームサイトでのトラブル
- 3-4 不当請求（ワンクリック請求など）

4. 著作権法等の違反

- 4-1 ゲームソフトの違法ダウンロード
- 4-2 動画の違法なアップロードとダウンロード

5. 誘い出しによる性的被害や暴行行為

- 5-1 SNSやゲームサイトで知り合った人からの誘い出し・脅迫
- 5-2 出会い系サイトで知り合った人からの性的脅迫
- 5-3 掲示板等への書き込みが原因での暴力行為

6. ネット依存による健康被害

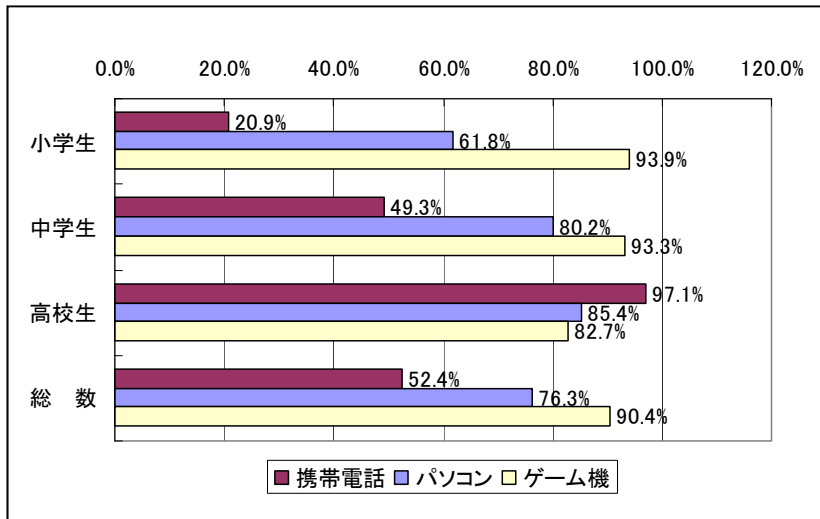
- 6-1 ゲーム依存やパソコンの長時間使用による日常生活への悪影響
- 6-2 ケータイ依存による情緒不安定

7. 犯行予告等

- 7-1 地域社会に不安を与える犯行予告
- 7-2 掲示板での特定の個人に対する嫌がらせ

子どものインターネット利用に関するデータ

子どもの携帯電話・パソコン・ゲーム機の所有率

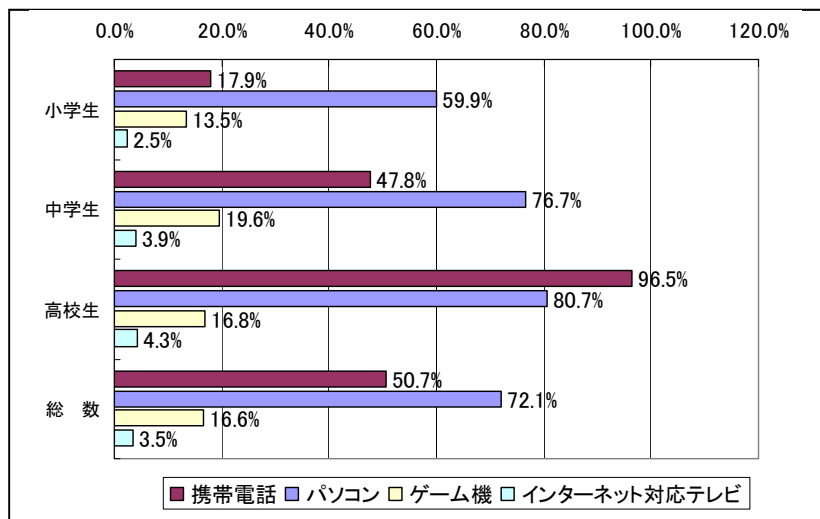


※家族所有のものを使用している場合を含む。

- 携帯電話の所有率は、小学生20.9%、中学生49.3%、高校生97.1%となっています。パソコンの使用率は、小学生で6割、中高生で8割を超えています。
- ゲーム機の所有率は、小・中学生いずれも9割以上と携帯電話・パソコンを上回っています。高校生においても8割を超えていますが、携帯電話・パソコンの方が高くなっています。

(出典) 「青少年のインターネット利用環境実態調査」
(平成23年2月；内閣府)
「青少年のゲーム機等の利用環境実態調査」
(平成23年3月；内閣府)

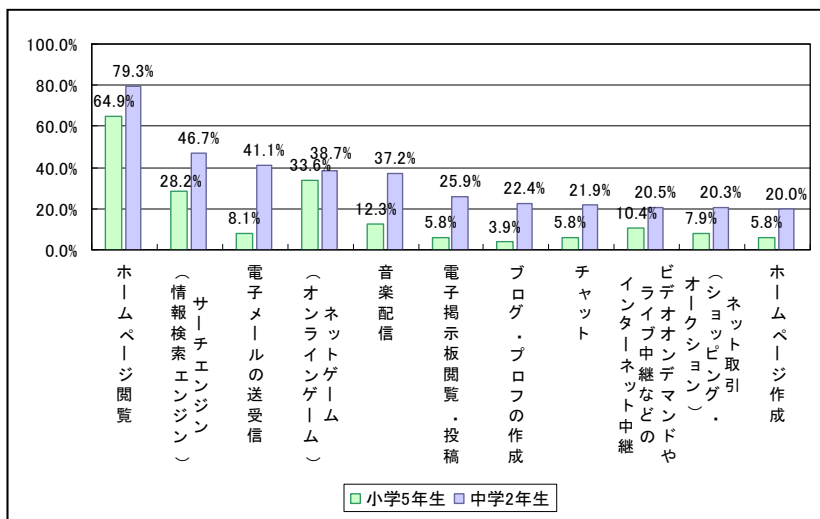
子どものインターネット利用端末の使用率



- インターネットを利用する際に使っている端末について、小・中学生ではパソコンが最も多くなっていますが、中学生では携帯電話も5割程度に達しています。高校生では携帯電話が最も多く、9割を超えています。
- また、小・中・高校生ともに、15~20%の子どもがゲーム機を使ってインターネットを利用しています。

(出典) 「青少年のインターネット利用環境実態調査」
(平成23年2月；内閣府)
「青少年のゲーム機等の利用環境実態調査」
(平成23年3月；内閣府)

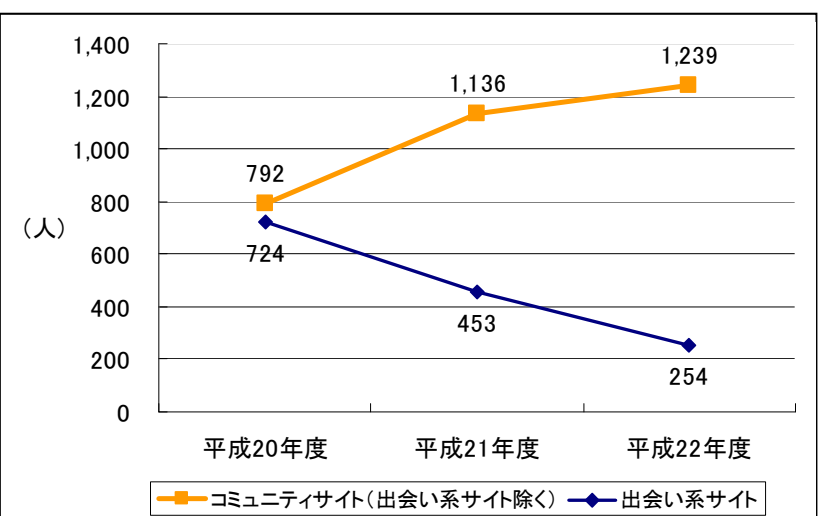
子どものインターネットの利用内容



- 小学5年生におけるインターネットの利用内容は、ホームページ閲覧、ネットゲーム、サーチエンジンなどが多くなっています。
- 中学2年生では、これらに加え、電子メールの送受信、音楽配信、電子掲示板閲覧・投稿、ブログ・プロフの作成なども多くなっています。

(出典) 「平成22年度 子どもとメディアに関する意識調査」
(平成23年3月；日本PTA全国協議会)

SNSやプロフなどを利用して犯罪被害にあった子どもの数



- SNSやプロフ、ゲームサイトなどのコミュニティサイト(出会い系サイトを除く)を利用して犯罪被害にあった子どもの数が増加しています。(一方、出会い系サイトを利用して犯罪被害にあった子どもの数は減少しています。)

(出典) 「平成22年中の出会い系サイト等に起因する事犯の検挙状況について」
(平成23年2月；警察庁)

保護者と子どもが
一緒に誓う

7つの約束

保護者が、子どもをネット危機から守るための7つの約束

1.大人も子どももルールやマナーを守ります

大人もインターネットと携帯電話の活用に関するルールやマナーを守ります。

2.ネットで知り合った人とは会いません

子どもには、ネットで知り合った人と会わせないようにします。

3.家庭のルールを作ります

子どもと一緒に、安全なネットライフのための家庭のルールを作り、守ります。

4.いじめはしません、見逃しません

ケータイいじめは絶対にさせません、見逃しません。

5.トラブルは大人に相談します

インターネットや携帯電話のトラブルは、一人で悩まないで大人に相談するように日頃から話しておきます。

6.加害者にも被害者にもなりません

子どもをネット上の加害者にも被害者にもしないように、家庭での予防教育に力を注ぎます。

7.大人の携帯電話を勝手に使いません

子どもが大人の携帯電話を勝手に使わないように十分注意します。

出典：「安心インターネットライフ★ガイド」財団法人マルチメディア振興センター（e-ネットキャラバン事務局）

平成22年度総務省調査研究「子どもを取り巻くインターネットの現状に関する調査研究」

発行者 総務省 総合通信基盤局
電気通信事業部 データ通信課
〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2

請負者 株式会社富士通総研
第一コンサルティング本部 公共事業部
〒105-0022 東京都港区海岸1-11-1